

たけたみずとかんきょうをまもるかい
竹田水と環境を守る会（佐久市）

・組織の活動面積	A= 28.52 ha
・組織の構成員数	約 150 人

組織形態	共同活動 ■	中山間直接支払 □	向上活動 □
取組開始年度	平成19年～	—	—

構成員	農家、竹田自治会、佐久平土地改良区、JA佐久浅間 佐久南部営農センター、消防団 竹田班、岸野小学校PTA 竹田支部、NPO法人 信州そまびとクラブ
-----	---

組織の概要

「竹田水と環境を守る会」は中部横断自動車道佐久南I.Cの西南、佐久平の田園風景が広がる佐久市根岸竹田地区にて活動に取り組んでいます。

農地、農業用施設の維持管理はもちろんですが、集落の財産である“農地や水路、豊かな自然”を後世に引き継いでいくため、学校教育との連携といった地元の子どもたちとの活動に力を入れています。

水と環境を次世代に引き継ぐために

毎年テーマを設け、身近にある宝物を子どもたちに伝えています。

- これまでに
- 生き物調査
 - 植物調査
 - あやめ水路の手入れ
 - そば栽培
 - そば打ち体験

といった活動を行ってきました。

これからも趣向を凝らしながら、水と環境を次の世代に引き継いでいくための活動に取り組んでいきます。

生き物調査



そば打ち体験



そば栽培



佐久浅間農業協同組合 広報誌 JAHOO(ジャッホー)
2011年9月号に組織の活動が掲載されました

環境保全活動
竹田水と環境を守る会

子どもたちがまいたそばは秋に収穫し、そば打ち体験を行う

「竹田水と環境を守る会」は、佐久市根岸竹田地区の農地や農業用水などを維持管理し、次世代に引き継ぐための活動に取り組んでいます。

地域に親しまれている「アヤメ水路」を手入れし、景観の保全に取り組んでいる

「地域一体となって農村資源を守る」

農業者の高齢化などによって困難になった農地や農業用設備の維持管理を支援しようと、2007年に地域住民や自治会、JAなどを設立。農業用設備の長寿命化をはかるため、地区を流れる中沢川周辺の草刈りやアヤメを植えた水路の管理を定期的に行い、設備の点検や補修を行っています。地域住民や団体が一体となって作業することで地域のつながりが強まり、農村資源の保全に対する意識向上にもつな

水路の泥上げを行うことで通水が良くなり、水質向上につながっている

「国の事業を活用し積極的な活動を」

次代を担う子どもたちにも環境への意識を高めてもらおうと、田んぼの生き物調査や植物調査などを行っています。今年度は遊休農地を利用してそばを栽培。楽しみながら地域環境の大切さを学んでいます。

会は設立初年度から国の「農地・水・環境保全向上対策」事業に参加。環境保全を目的とした地域の共同活動などを対象に交付される支援金を活用しています。

今後は活動範囲を広げ、遊休農地の利活用などに積極的に取り組んでいます。

竹田水と環境を守る会

- ◆結成 2007年7月
- ◆構成員 竹田地区住民(98戸)、土地改良区、JAなど
- ◆農地面積 35ha(水田25ha、畑10ha)
- ◆農業用設備 開水路6.2km、農道5.5km、パイプライン1km
- ◆お問い合わせ さく南部営農センター ☎0267-62-8145

※構成員、農地面積は掲載日現在のものです

集落の財産を後世に伝えたい

竹田水と環境を守る会 会長 重田 勝夫 さん

「農地や水路、豊かな自然を集落の財産として守りたい」という思いから活動を始めました。地道な活動が少しずつ実り始め、中沢川にホタルが戻ってくるなど自然環境や景観が向上しています。成果が目に見えることで、住民の活動への参加意欲も高まっています。

地域を愛する気持ちを忘れずに末永く活動を続け、美しい農村環境を後世に伝えていきたいと願っています。